



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2620地区

Weekly Report

御殿場ロータリークラブ週報

第1816回
例会プログラム
2003.10.23

No. 17

例 会 場 / 東山荘・記念館

開 会 点 鐘 / 12:30

ロータリーソング / 四つのテスト

内 容 / クラブフォーラム
三役・国際奉仕委員会

会 員 慶 事

結婚記念日

10月23日 生野 旭君・つな子様ご夫妻

10月23日 土屋 義明君・英 子様ご夫妻

夫人誕生日

10月24日 豊山 徹也君 ご夫人 洋 子様



会 長 水口 正宏

今夜は、親睦委員会の皆さまのご尽力によります「観月会」です。たいへんお世話になります。

日本の秋には、お月見の晩が二度めぐってまいります。旧暦八月十五日の仲秋の名月を眺める晩と、同じ旧暦の九月十三日の十三夜の晩です。

お月見といえば、十五夜さんといひ決めてしまいがちですが、実は日本古来のお月見は十三夜のほうのようです。今年は先週の水曜日10月8日が、十三夜でした。十三夜の行事は、おそらく秋の収穫祭のひとつにお月見を取り入れることから始められたのでしょう。

平安時代には十三夜に風流な人びとが集まって、詩歌の会を催したといひますから、農村だけでなく都にも月見の風習があったと考えられます。しかし、中国から十五夜の風習が伝えられて、

月見が2回行われるようになると、十五夜だけという地方が多くなったようです。とにかく、お月見が二度ある国はほかに例がありません。わがクラブは古式にのっとり、「観月会」を行っているということになります。

十三夜のことを「後の月・豆名月・栗名月・芋名月」などともいひます。二度のお月見が行われていた時代には、どちらかを省略することは「片月見」になるからいけない、と戒められていました。地方によっては、十五夜を「芋名月」といっているところもあり、いずれにしても芋を供えるしきたりから、芋類は秋の収穫のシンボルのような扱いをされていたようです。名月にお供えする芋はサトイモが最上とされ、これを中心に田畑の初物の団子・野菜・果物そしてススキなどの秋草が縁側に並べられました。

『名月をとってくれと 泣く子かな』（一茶）

今では、そんな子どもも縁側もすっかり姿を消してしまったようです。

さらりとした
ロータリーライフを

次回10月30日の例会

1817回 12:30点鐘 東山荘・講堂

観月会

開会



林親睦委員長
小野副委員長

今日は何故か
硬い表情

乾杯

メインスタッフ
いよいよ観月会の始まり
後ろの丸(月)は
小野副委員長ご夫人玉枝様の書



熱唱



酩酊



談笑



復活



10月16日の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
60名	58名	41名	70.66%	100.00%

欠席者(17名)

藤田昇司君・大森清治君・高柳雄輔君・山口幸男君
井口修一君・根上陽一君・田代博久君・山崎恭夫君
石田 恩君・生野 旭君・土屋義明君・勝間田豪亮君
嶋田泉太郎君・内海宣彦君・勝又重春君・菅沼 久君
渡邊 巖君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までに
ご連絡下さい。

メーキャップ 勝又敏樹君 9月26日 裾 野
(4名) 渡邊 巖君 10月 1日 G R A
山崎伊久雄君 10月 1日 G R A
戸栗太平君 10月15日 G R A



大洞の会

来週10月30日(木)は18:00より「蕎麦を食する会」があり
ます。ご期待下さい。

第2620地区
御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日
例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長/水口 正宏
幹 事/梶原 一正
会報委員長/勝又 誠

